

最新脳研究でわかった 子どもの脳を傷つける親がやっていること

本学子どものこころの発達研究センターの友田明美教授は、親のどのような行動が子どもの脳に影響を及ぼすのかについて、研究成果を発表しました。

本センターでは、「マルトリ予防[®]」と「とも育て[®]」の普及活動に注力しており、その成果をまとめた新書『子どもの脳を傷つける親がやっていること』を2024年12月7日に発刊しました。

本書では、虐待やネグレクトとまでは言えないものの、子どもへの避けたいかわり（マルトリートメント：略称「マルトリ」）が子どもの脳に影響について、最新の脳科学の視点から解説しています。このようなマルトリが、認知機能の低下やさまざまな疾病リスクを引き起こす可能性があることを、具体的な事例や科学的エビデンスを用いて紹介しています。また、養育者によるマルトリが神経生物学的な変化をもたらし、健康に及ぼす影響についても詳述しています。

さらに、養育者を支援する方法として「ペアレントトレーニング」に焦点を当て、その具体的な取り組みを紹介しています。

本書を通じて、この問題への社会的な関心を喚起し、児童虐待（マルトリ）件数が減少し、かつ虐待予防と子育て支援の重要性が社会全体に広く認識されることを目指しています。



友田教授の新書の表紙



【本件に関する内容の問い合わせ先】
福井大学広報センター
TEL :0776-27-9733
Mail: sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

S Bクリエイティブ株式会社
TEL : 03-5549-1204
Mail : booksdr@cr.softbank.co.jp